

多回線FAXサーバソフトウェアMultiPortFAX 4 Pro. が完全仮想化に対応！  
～ 光IP電話による完全仮想化及び電話料金節約を実現 ～

大容量デジタルデータ伝送サービス事業、及びネットワークシステムの開発・販売事業を展開する日本ワムネット株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：石澤 幸信 以下日本ワムネット）は、多回線FAXサーバソフトウェアMultiPortFAX 4 Pro.（以下MPF4）が、光IP電話に対応した完全仮想化SIP BOXのサポートを開始することを発表しました。

通常FAXサーバの運用には、企業内にサーバ機器を設置し、FAXボードや拡張シリアルボード等の通信ボードを装着する必要があり、仮想環境上の運用においても、LAN上にFAX GATEWAYの通信機器を配置するのが一般的でした。

一方、2025年のISDN回線廃止に伴い、次世代ネットワーク対応の光IP電話が今般主流となっています。この度、MPF4は完全仮想化対応として、ISDN回線に代わる光IP電話に対応した通信ソフトSIP BOXをリリースしました。

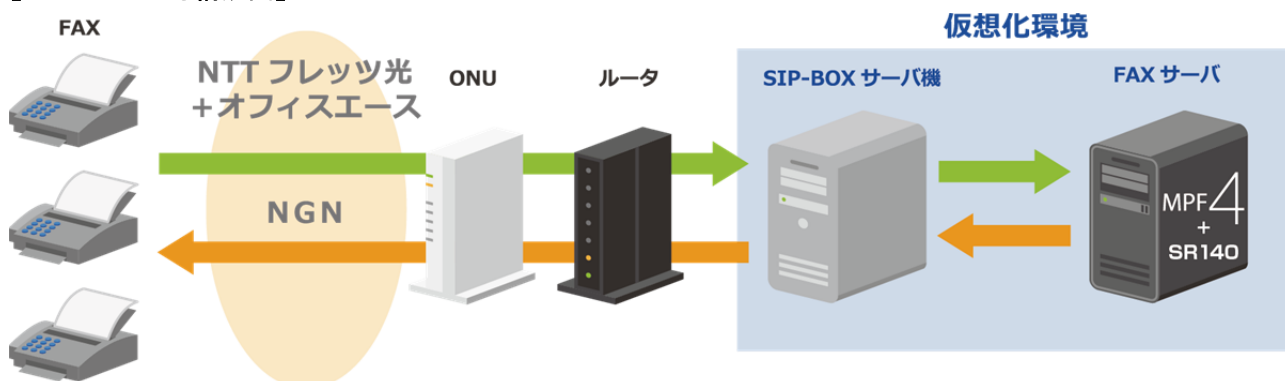
SIP BOXは、Linux（CentOS）上で稼働するソフトウェアであり、仮想環境上のWindows Server OSにMPF4、Linux OSにSIP BOXをインストールすることで完全仮想化を実現できます。

仮想環境がないお客様においても、Windows ServerのHyper-Vを利用することで、従来の通信機器の保守を気にせず利用することが可能です。

また光IP電話は、一般公衆回線と異なり通信料が全国一律（3分8円（NTTの場合））のため、SIP BOXを使用することで大幅な通信コストの削減を行えます。

今回のリリースにより、MPF4は従来のFAXボード構成、仮想環境構成の他に完全仮想化構成のラインナップとなり、1～2回線の小規模用途から40回線以上の大規模用途も含めた幅広いニーズに対応し、従来のアナログ回線から光IP電話までの構成が可能となりました。

【SIP BOXによる構成図】



**【SR140について】**

FAX over IP (FoIP)を提供するソフトウェア(仮想FAXボード)

型番: SR140-R3(2 Channel から)

価格: オープン価格

**【SIP BOXについて】**

IP電話SIP-UA対応終端装置(B2BUA)

型番: SIP BOX(4 Channelから)

価格: オープン価格

**【発売日】**

2016年11月7日

**【日本ワムネットについて】**

日本ワムネットは、株式会社ティーガイア、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社等が出資する合併会社です。大容量データを安全に伝送・共有・保管する企業向けオンラインストレージソリューション、ネットワークシステムの開発や販売事業、オフィス環境からモバイル環境に至るビジネスをよりセキュア・スマートに行えるパッケージの提案を行っています。

**【MultiPortFAXについて】**

MultiPortFAXシリーズは、純国産の業務用FAXサーバソフトウェアとして、1995年の販売開始以来豊富な導入実績を誇るロングセラー商品です。MultiPortFAX 4 Pro.は、受発注システムや金融システム、コールセンターシステム等の業務システムと連携するFAXシステムとして、その連携開発の容易さと確実性を特長とし、運用後の安定性の面からも多くのお客様の支持を集めております。

**【本件に関するお問合せ】**

日本ワムネット株式会社 ソリューション営業部

〒104-0033 東京都中央区新川1-5-17 エイハ新川9F

TEL: 03-5117-2147 FAX: 03-5117-2155

Email: mpf-info@wamnet.jp

Web: <http://wamnet.jp/products/mpfax4/>

**【報道関係者からのお問合せ】**

日本ワムネット株式会社

マーケティング部 担当: 齊藤

〒104-0033 東京都中央区新川1-5-17 エイハ新川9F

TEL: 03-5117-2150 FAX: 03-5117-2155

Email: tsaito@wamnet.jp

本リリースに記載の社名、製品名、並びにサービス名は各社の商標または登録商標です

以上